

# 第84回 東京都卸売市場審議会

## 東京都中央卸売市場経営計画 の進捗について

---

令和6年9月13日  
東京都中央卸売市場

## I 経営計画の進捗状況

- |   |            |    |
|---|------------|----|
| 1 | 経営計画の進捗状況  | 2頁 |
| 2 | 今後の重点的な取組等 | 4頁 |

## II 各取組の進捗状況（個票）

- |   |  |     |
|---|--|-----|
| 1 | 中央卸売市場全体の機能の最適化と市場の機能強化  | 7頁  |
| 2 | 市場施設の計画的な維持更新  | 9頁  |
| 3 | 強固で弾力的な財務基盤の確保   | 11頁 |
| 4 | 基幹的なインフラとしての機能の強靱化<br>(①公平かつ公正な取引環境の確保、②品質・衛生管理の徹底・強化、③事業継続体制の確保・強化、<br>④DXの推進等による市場業務の効率化、⑤サプライチェーンにおける結びつきの強化、<br>⑥市場業者の経営基盤の強化) | 13頁 |
| 5 | 市場取引の活性化に向けた取組の強化<br>(⑦物流の高度化・効率化、⑧商流の高度化・効率化、⑨多様な消費者ニーズへの対応)  | 25頁 |
| 6 | 市場事業のサステナブル化<br>(⑩市場のゼロエミッション化、⑪持続可能な調達等の取組、⑫地域社会との共生、<br>⑬働き方改革・ダイバーシティの推進)   | 31頁 |

## III 参考資料

- |   |                                |     |
|---|--------------------------------|-----|
| 1 | 市場を取り巻く環境変化（物流2024年問題による影響と対応） | 40頁 |
| 2 | 包括外部監査人からの指摘・意見について            | 41頁 |

# 目次（主な取組内容の紹介）

「Ⅱ 各取組の進捗状況（個票）」は、進捗状況の説明と主な取組例で構成

	事項	主な取組例
1	中央卸売市場全体の機能の最適化と市場の機能強化	淀橋市場拡張整備事業、板橋市場の再整備
2	市場施設の計画的な維持更新	劣化度調査
3	強固で弾力的な財務基盤の確保	経営レポート公表、業界との意見交換
4①	公平かつ公正な取引環境の確保	社会的責任を踏まえた市場流通に対する信頼性を向上させる方策
4②	品質・衛生管理の徹底・強化	足立市場の衛生対策
4③	事業継続体制の確保・強化	中央卸売市場BCPの改訂
4④	D Xの推進等による市場業務の効率化	せりの動画を見ることができるQRコード設置
4⑤	サプライチェーンにおける結びつきの強化	産地や実需者のニーズを踏まえた機能強化
4⑥	市場業者の経営基盤の強化	経営基盤の強化や稼ぐ力の強化に向けた取組を支援
5⑦	物流の高度化・効率化	物流対策コンサルティング事業、経営強靱化推進事業に物流対策枠新設、淀橋市場での市場物流イノベーション推進事業、大田市場通信基盤整備事業
5⑧	商流の高度化・効率化	商取引のデジタル化の推進に向けた取組
5⑨	多様な消費者ニーズへの対応	多様な消費者ニーズに対応する施設活用の検討
6⑩	市場のゼロエミッション化	省エネ型グリーン冷媒機器普及促進事業、省エネ診断・セミナー・相談会
6⑪	持続可能な調達等の取組	水産エコラベル・食品ロス削減の認知度向上
6⑫	地域社会との共生	市場まつりの開催
6⑬	働き方改革・ダイバーシティの推進	働き方改革の実現に向けた取組支援

## Ⅱ-5-⑦ 物流の高度化・効率化

**【概要】**  
改正法施行に伴う輸送力不足等の影響など物流環境の変化がある中、パレットの標準化や運用ルール等を確立、先端技術を活用した場内荷役業務の省力化・自動化等を実施することで、場内物流の効率化を図る。また、集荷における幹線輸送への集約化やストックポイントとしての施設活用等を行い、物流の効率化を図る。

**【前回審議会までの報告事項】**  
○ 業界と場内物流の効率化に向けた検討、物流対策コンサルティング事業等を検討  
○ 淀橋市場において、先端技術を活用した市場物流イノベーション推進事業を推進  
○ 大田市場の物流効率化に資する場内通信環境の改善に向けた最適な対応策をとりまとめる協議体を設置し、整備の方向性を検討

**【前回審議会以後の取組状況】**  
○ 物流対策コンサルティング事業等を創設し、事業者の取組を支援  
○ 自動立体冷蔵倉庫の整備と自動搬送技術の導入に向けた検討  
○ 大田市場において、物流効率化に向けた業界の取組を支援するため、通信基盤としてWi-Fiの整備に着手  
○ 板橋市場の基本構想策定において、ストックポイントとしての施設活用等に向けた検討を実施し課題等とりまとめ

**【計画の進捗状況】 B 実施中**  
→ 「自動搬送等の導入による場内物流の効率化等の推進」をはじめ、計画記載の2項目を中心に計画どおり実施

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
自動搬送等の導入による場内物流の効率化等の推進	調査	導入に向けた検討、一部の市場で先行実施			
経営強靱化のための補助事業等【再掲】	実施		見直し再確認など		

**【今後の取組等】**  
**ア 2040年を見据えて取り組むこと（今後の課題）**  
・物流環境の変化に即した支援の継続及び物流対策の更なる取組が必要  
・業界と連携し、ソフト・ハードの両面での取組を推進  
**イ 計画期間内の取組**  
・市場業者の物流効率化に向けた取組を引き続き支援  
・施設の拡張整備にあわせて、先端技術を活用した市場の物流高度化・効率化を図る推進事業を継続  
・大田市場において物流効率化に向け場内通信環境を改善

## Ⅱ-5-⑦ 物流の高度化・効率化（パレット化、D Xの推進等）

**主な取組例**

○ 「物流の2024年問題」に対応するため、都と業界とが連携し、物流の高度化・効率化に資するソフト・ハードの両面での取組を推進

**取組1：物流課題に直面する市場業者への支援**  
《物流対策コンサルティング事業》  
卸売市場を中心とする産地・実需者を含めたサプライチェーン全体での物流効率化に向けた取組（パレット標準化等）を支援するため、物流の専門家による市場業者へのセミナーや個別相談などを実施  
《経営強靱化推進事業に物流対策枠を新設》  
経営強靱化推進事業において、新たに「物流対策枠」を設置し、高補助率にて市場業者の取組を支援

**取組2：施設整備に併せた実証事業の推進**  
《市場物流イノベーション推進事業》  
◆ 淀橋市場において、施設の拡張整備にあわせて、先端技術を活用した市場の物流高度化・効率化を推進  
**【事業の概要】**  
市場業者による、淀橋市場をモデルとした物流高度化・効率化に要する費用の一部を都が補助  
**【現状・課題】**  
・自動立体冷蔵倉庫等整備工事の着実な推進  
・自動搬送技術の導入に向けた検討

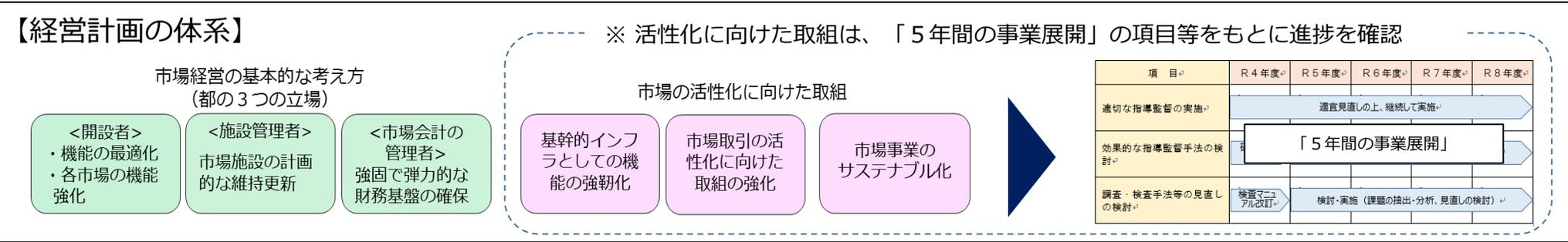
**取組3：狭域化が進む大田市場での取組**  
《大田市場通信基盤整備事業》  
◆ 大田市場青果卸売業者3社で共同開発を進めている「荷置場案内サービス」を活用した物流効率化の取組を後押し  
**【事業の概要】**  
「荷置場案内サービス」での活用も想定し、不特定多数の市場施設利用者がアクセスできる通信基盤として、Wi-Fiを整備  
**【現状・課題】**  
今年度からセキュリティ対策を強化したWi-Fiを右図の箇所に先行整備  
**【スケジュール】**  
令和6年度  
・Wi-Fi先行整備（設計、電源・回線工事を含む）  
令和7年度以降  
・Wi-Fi順次拡大整備（電源・回線工事を含む）

**【スケジュール】**  
令和5年度  
・推進事業に着手  
令和6～7年度  
・自動立体冷蔵倉庫等の整備  
・自動搬送技術の導入

# **I 経営計画の進捗状況**

# 1 経営計画の進捗状況

- 都の中央卸売市場が、将来にわたって基幹インフラとしての役割を發揮できるよう、東京都中央卸売市場経営計画（令和4年～8年）の取組を着実に実施することは重要であり、計画期間の折り返しにあたり進捗状況の確認を行った。
- 進捗状況の確認は、経営計画の体系に準じて行い、「A 実施済 B 実施中 C 一部未実施」で分類した。



## 1 中央卸売市場全体の機能の最適化と各市場の機能強化 → B 実施中（詳細は7ページ）

各市場がネットワークを形成し生鮮品等安定供給の役割を果たすとともに、狭隘化や老朽化が進む淀橋市場の拡張整備や、交通便利性の高い板橋市場について、区部西北部の青果物流通拠点としての機能強化等に取り組んでいる。

### 【今後の方向性】

**淀橋市場拡張整備事業や板橋市場の機能強化等の施設整備を、市場業者と連携し着実かつ円滑に推進していく。**

## 2 市場施設の計画的な維持更新 → B 実施中（詳細は9ページ）

老朽化が進む市場施設について、予防保全の考え方をいながら維持更新を進めるとともに、令和4年度から2か年で各市場の主要な建物について劣化度状況調査を実施（豊洲市場を除く）

### 【今後の方向性】

**施設の利用実態や財政計画との整合性を図りながら、維持更新計画を策定していく。**

## 3 強固で弾力的な財務基盤の確保 → B 実施中（詳細は11ページ）

経営改善の取組を進めるとともに、令和6年5月に市場会計の実情等を示した経営レポートを公表し、財政状況等について業界との意見交換を開始している。

### 【今後の方向性】

**引き続き、施設の利活用等の検討を進めさらなる経営改善に取り組むとともに、市場会計の経常収支の黒字化に向けて、市場を取り巻く状況等に応じて検討していく。**

#### 4 基幹的なインフラとしての機能の強靱化 → 6事項（17項目）中（A 2件、B 15件、C 0件）詳細は13ページ～

（①公平かつ公正な取引環境の確保、②品質・衛生管理の徹底・強化、③事業継続体制の確保・強化、  
④DXの推進等による市場業務の効率化、⑤サプライチェーンにおける結びつきの強化、⑥市場業者の経営基盤の強化）

市場流通に対する信頼性を維持するため、各種研修の実施等による公平かつ公正な取引環境の確保、施設整備等を通じた衛生対策、市場版BCPの改訂等業務継続体制の強化などに取り組んでいる。さらに、産地等との交流イベント開催や、輸出を含めた販路拡大等の市場業者の取組を補助事業や専門家派遣等により後押ししている。

##### 【今後の方向性】

**基幹インフラとしての機能強靱化に向けたDXの推進として、カメラ映像の画像解析技術を活用したセキュリティ強化等の調査・実証に取り組んでおり、今後、明らかになった課題に対応しながら、実効性ある取組を事業化していく。**

#### 5 市場取引の活性化に向けた取組の強化 → 3事項（8項目）中（A 0件、B 8件、C 0件）詳細は25ページ～

（⑦物流の高度化・効率化、⑧商流の高度化・効率化、⑨多様な消費者ニーズへの対応）

施設整備等を通じて、場内物流の高度化や効率化などを推進している。また、マテハン機器導入等の物流改善、ECサイト構築や受発注管理システム導入等のデジタル活用、品質・衛生管理体制の強化など消費者ニーズに対応する市場業者の取組を補助事業や専門家派遣等により後押ししている。

##### 【今後の方向性】

**市場全体における商流・情報流のデジタル化や、多様な販売チャネルに対応するストックポイントとしての施設活用等を通じて取引の活性化を図るよう検討を行っていく。**

#### 6 市場事業のサステナブル化 → 4事項（11項目）中（A 0件、B 11件、C 0件）詳細は31ページ～

（⑩市場のゼロエミッション化、⑪持続可能な調達等の取組、⑫地域社会との共生、⑬働き方改革・ダイバーシティの推進）

市場施設におけるLED化やリサイクルの推進等に取り組むとともに、地域社会との共生を図るため、市場業者と連携し、市場まつりや食育・花育等講習会を開催している。また、市場業者の環境負荷低減につながる設備導入や水産工コラベル認証の取得などの取組を補助事業や専門家派遣等により後押しするとともに、労働環境を取り巻く法改正等の動向などについて、業界団体と連携してセミナー等を開催している。

##### 【今後の方向性】

**市場業者においても、生産年齢人口の減少等により労働力の確保が困難になっている現状等を踏まえ、誰もが働きやすい環境を整備することなどにより、ダイバーシティの取組を推進していく。**

## 2 今後の重点的な取組等

- 令和8年度末に向け、経営計画の取組を着実に進めることはもとより、今回の進捗確認により明らかになった課題への対応や計画策定後の環境変化を踏まえた取組を、重点的に進めていく。

現計画のうち、  
加速すべき取組



### 【計画策定（R4.3）後の社会経済情勢等の主な環境変化】

- ・ 不安定な国際情勢に端を発したエネルギー問題や物価高騰（R4.12）
- ・ 新型コロナウイルス感染症の5類移行（R5.5）
- ・ 包括外部監査人からの指摘・意見（R6.1）…資料40頁
- ・ 物流2024年問題による輸送力低下への懸念（R6.4）…資料39頁

### 市場経営の基本的な考え方（都の3つの立場）

市場全体の機能の最適化と  
各市場の機能強化

- ▶ 淀橋市場拡張整備事業や板橋市場の再整備等の施設整備を着実かつ円滑に推進するとともに、市場全体の長期的な施設整備の方向性を見据えた検討に着手

市場施設の計画的な維持更新

- ▶ 市場施設の利用実態や財政計画との整合性を図りながら維持更新計画を策定し、市場業務への影響等を考慮した市場毎の工事計画（マスタープラン）を検討

強固で弾力的な財務基盤の確保

- ▶ 「経営レポート」を活用し、業界と市場の活性化や経営改善策について継続的に意見を交換し、課題を共有しながら取組を推進

### 市場の活性化に向けた取組の推進

基幹的なインフラとしての機能の  
強靱化

- ▶ 市場業務の効率化・高度化に向けたDXの推進、経営を取り巻く環境変化に市場業者が的確に対応できるよう支援策の実施

市場取引の活性化に向けた取組  
の強化

- ▶ 先端技術等を用いた場内物流改善の推進、商流の効率化・高度化に向けた市場業者との意見交換や支援等の実施、市場整備を契機としたストックポイントとしての施設活用策の検討

市場事業のサステナブル化

- ▶ 省エネ・再エネの一層の推進、ダイバーシティの推進に向けた労働環境の改善等

こうした取組を進めるとともに、業界との意見交換等を通じて、その進捗や成果を検証し、次期経営計画の策定などにつなげていく。



## **Ⅱ 各取組の進捗状況（個票）**

## Ⅱ - 1 中央卸売市場全体の機能の最適化と市場の機能強化

### 【概要】

生鮮品等流通の基幹的なインフラとして都民の消費生活を支えていくため、個々の市場の機能強化を図るとともに、各市場が形成しているネットワークを強化し、市場全体として最適な機能を発揮していく。

### 【前回審議会までの報告事項】

- 淀橋市場において、拡張整備事業に係る実施設計及び埋蔵文化財調査等を実施
- 板橋市場において、機能強化の方向性等を具体化する基本構想策定に向けた検討を実施

### 【前回審議会以後の取組状況】

- 淀橋市場拡張整備事業では、工事の円滑な実施に向け、7月に地域住民に対し事業概要の説明会を開催
- 板橋市場の機能強化では、昨年度まとめた基本構想に基づき、施設整備の具体的な内容を決める基本計画の策定に着手するとともに計画を実効性あるものにするため、業界と他府県の市場施設等の視察などを実施

### 【計画の進捗状況】 **B 実施中**

→ 淀橋市場拡張整備事業や板橋市場の機能強化等に取り組んでいる。

令和5年度包括外部監査における監査人からの意見も踏まえ、市場全体の長期的な施設整備の方向性を見据えた検討を行っていく。

### 【今後の取組等】

#### ア 2040年を見据えて取り組むこと（今後の課題）

長期的な施設整備の方向性を踏まえながら、各市場の特性等に応じた機能強化に取り組み、市場全体として最適な機能を発揮

#### イ 計画期間内の取組

- ・淀橋市場及び板橋市場における機能強化を着実かつ円滑に推進
- ・長期的な施設整備の方向性について、財政状況、取引実態、活性化の状況、施設の状況から現状把握を行い、業界と意見交換・検証等を実施

## 主な取組例

### 【概要】 「淀橋市場拡張整備事業」

- 築60年が経過し、老朽化した総合事務所棟の建替えに併せ、狭隘な敷地を有効に活用した加工・パッケージエリアの整備等、**実需者ニーズに対応した市場機能の強化**を推進
- 整備の機会を捉え、自動立体冷蔵倉庫を導入し、**商品の搬送手法を高度化**するなど、**効率的な場内物流**を実現
- 7月に**住民説明会（計画説明）**を開催するなど、**地域への丁寧な説明**を心掛けながら整備事業を推進

#### ■ パースイメージ

【自動立体冷蔵倉庫】



【新総合事務所棟(仮称)】



#### ■ 今年度以降の整備スケジュール

- 令和6年度～ 準備工事（正門詰所解体等）  
自動立体冷蔵倉庫等整備工事（発注者：市場業者）
- 令和8年度～ 新総合事務所棟（仮称）整備工事
- 令和11年度～ 現総合事務所棟解体工事

## 「板橋市場の再整備」

### 【概要】

- 周辺市場との機能集約を視野に入れつつ、交通利便性の高い立地を生かし、産地からの集荷や他市場との連携など、**広域的な物流拠点としての機能強化**を図る計画
- 現在、令和5年度に策定した基本構想に基づき、**都と業界で設置した検討会で議論**しながら、整備案のさらなる具体化を図る**基本計画を検討中**

#### ■ 基本構想で取りまとめた機能強化の方向性

<b>生鮮食料品の品質管理向上</b> コールドチェーン対応につながる整備（閉鎖化、定温化等）	<b>取引先の需要への対応</b> 実需者のニーズに対応する加工・パッケージエリアの整備
<b>DX等による物流効率化</b> トラック予約システムや自動搬送装置の導入等を検討し、DX推進 等	<b>物流拠点化</b> 交通利便性の高い立地を生かした広域的な物流拠点としての整備
<b>ニーズ変化等への柔軟な対応</b> ニーズの多様化等の状況変化に対応できる柔軟性と維持管理性の確保 等	<b>地域との共生推進</b> 災害対策に配慮した防災機能の強化の検討 等

#### ■ 今年度以降の整備スケジュール

- 令和6年度 基本計画の策定
- 令和7年度 基本設計
- 令和8年度 実施設計
- 令和9年度～ 整備工事

## II - 2 市場施設の計画的な維持更新

### 【概要】

市場施設の老朽化への対応として、主要な個別の建物ごとの劣化度調査を実施し、調査の結果を踏まえ、改修、改築等の方針の検討を行い、建物毎の「維持更新計画」を策定する。

市場業務への影響がないよう配慮し、市場毎に工事を集中的に実施していくためのマスタープラン（全体計画）を策定し、計画的な維持更新を進める。

### 【前回審議会までの報告事項】

- 令和4年度の5市場（大田、淀橋、足立、多摩、葛西）の劣化度調査結果の総括

### 【前回審議会以後の取組状況】

- 令和5年度は5市場（食肉、豊島、板橋、世田谷、北足立）の劣化度調査を実施  
劣化度調査の結果を総括する。

### 【計画の進捗状況】 B 実施中

→ 令和4年度、令和5年度にかけて、全市場（豊洲市場を除く）の劣化度調査を計画どおり実施した。市場施設の「利用実態」及び「財政計画」との整合が図られた維持更新計画を策定する。

### 【今後の取組等】

#### ア 2040年を見据えて取り組むこと（今後の課題）

・人口減少を見据え、財政上の厳しい制約から、長期的には、市場施設の規模の適正化を前提に、更新時期や財政負担の平準化を図りながら、計画的でメリハリのある維持更新が必要

#### イ 計画期間内の取組

・継続的に維持更新計画を進める建物と、改築等を進める建物に分類（R6）

・財政計画との整合性を図りながら、建物毎の維持更新計画を策定（R7）

・市場毎の工事計画（マスタープラン）を検討（R8）

### 主な取組例

- 令和4・5年度に、劣化度調査を実施し、各市場の状況を把握

### ≪令和5年度劣化度調査の結果（概要）≫

#### ■ 建築（意匠）

- 屋上は、ルーフトレン付近や目地部などから雑草繁茂や笠木モルタルの剥離等、経年による欠損あり
- 防水は、改修され良好に維持されている部分があるが、耐用年数を超えている部分もある
- 外壁は、ひび割れ等の劣化が相当進行、修復の必要有り
- 建具は、鋼製扉の錆、開閉不良、金物の不具合有り

#### ■ 躯体（構造）

- 旧耐震<sup>※1</sup>の施設のコンクリート強度試験の結果、殆どが設計基準強度を超えていたが、一部で下回る部分があり（耐震診断により耐震性能は有している）新耐震<sup>※2</sup>の施設のコンクリートは十分な強度を確保
- コンクリートの中性化が、鉄筋まで進行している可能性がある箇所があり、中性化防止対策として、防水や塗装、躯体のひび割れ補修などを講じることを推奨
- 鉄骨接合部調査の超音波試験結果、問題となる傷は無し

※1 昭和56年6月1日の建築基準法の耐震基準の見直しより前に用いられていた耐震基準  
 ※2 昭和56年6月1日に導入された耐震基準

#### ■ 設備（電気・機械）

- 電気や機械設備は、予防保全による維持管理が努められている。破損や劣化進行に対する観察と計画的な更新必要



## II - 3 強固で弾力的な財務基盤の確保

### 【概要】

経常収支の黒字化に向けて、経営改善に取り組むとともに、将来を見据えて使用料のあり方を検討

### 【前回審議会までの報告事項】

- 市場運営費の縮減や収入確保など、経営改善の取組を着実に実施。また、更なる経営改善に向け、経営状況のより精緻な分析等を実施
- ホームページ等における情報発信や、「経営レポート（仮称）」を作成
- 市場会計の財政状況について、市場毎に業界との意見交換を実施

### 【前回審議会以後の取組状況】

- 市場会計の財政状況や都の経営改善の取組等について、全ての市場の業界との意見交換を実施
- 令和6年5月1日に「東京都中央卸売市場会計 経営レポート」を公表

### 【計画の進捗状況】 **B 実施中**

→ 経営改善の取組を進めるとともに、「東京都中央卸売市場会計 経営レポート」を公表し、財政状況等について業界との意見交換を実施した。

引き続き「経営レポート」を活用し、業界と意見交換を継続的に実施することで、さらなる経営改善や市場の活性化に取り組むことが必要

### 【今後の取組等】

#### ア 2040年を見据えて取り組むこと（今後の課題）

- ・市場会計における経常収支の黒字化
- ・引き続き業界との意見交換を実施
- ・経営改善の取組の着実な実施や経営状況の分析等を引き続き実施

#### イ 計画期間内の取組

- ・業界との意見交換や分析を実施し、経営レポートを作成（R6, 7）
- ・次期経営計画策定にあたっての長期収支を作成
- ・業界との意見交換や経営改善の取組等の次期経営計画への反映（R8）
- ・包括外部監査意見への対応（40ページ参照）

### 主な取組例

- 「東京都中央卸売市場会計 経営レポート」を公表
- 市場会計の財政状況について、全市場の業界との意見交換を実施

#### 《東京都中央卸売市場会計 経営レポート（令和6年5月1日公表）》

##### 【目的】

- 管理会計の手法を活用することで、今後の更なる経営改善に向けた検討素材とすること
- 市場会計のおかれている状況や東京都の経営改善の取組等を、わかりやすく発信すること

##### 【レポートの内容】

- 令和6年度予算の概要
- 令和4年度の経営改善の取組
- 財政収支の現状と推移・財政収支見通し
- 参考資料

#### ■ 経営レポート表紙



※レポートは中央卸売市場ホームページでダウンロード可能

#### 《業界との意見交換》

##### 【目的】

業界と市場の活性化や経営改善策について継続的に意見を交換し、課題を共有しながら取組を進めていく

##### 【概要】

- 11市場の業界とそれぞれ意見交換を実施
- 業界の主な参加者は、卸売業者、仲卸業者、関連事業者、売買参加者等の代表者等

##### 【意見要旨】

- 市場会計の収入・支出の把握・分析に関する意見
  - － 「収益の内訳や、管理費等の費用の詳細を知りたい」等
- 市場の公共的役割を踏まえた市場運営に関する意見
  - － 「社会的インフラだという役割を尊重していただき、国庫補助金等の使用料以外の財源についても検討を進めてほしい」等

#### ■ 意見交換の様子



## II - 4 - ① 公平かつ公正な取引環境の確保

### 【概要】

取引参加者に対する指導監督を適切に実施するとともに、取引情報等の透明性確保などを通じて、公平かつ公正な取引環境を確保

### 【前回審議会までの報告事項】

- 卸売業者に対する取引業務巡回調査や検査、仲卸業者検査など、取引参加者に対する指導・監督等を適切に実施
- 令和4年度から指導監督に従事する職員向けの研修を実施。令和5年度は、新規担当職員を主な対象とした「決算書を読み解くための基礎知識」等、経営分析に係る基礎的な内容で研修を実施

### 【前回審議会以後の取組状況】

- 市場業者への指導監督を通して得た取引に関する知見等を、その後の検査業務等に活用するとともに、指導監督に従事する職員を対象に「市場流通に関する基礎知識」及び「不公正な取引事例に関する知見の共有」等、実務に即した研修を本年8月に実施
- 環境負荷の軽減やSDGsの達成などにつながる企業行動を市場業者自らが点検することで、責任ある企業行動について自律的な改善につながるチェックリストの検討を実施

### 【中間のまとめ（評価）】 B 実施中

→ 「適切な指導監督の実施」をはじめ、計画記載の3項目を中心に計画どおり実施

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
適切な指導監督の実施	適宜見直しの上、継続して実施					B
効果的な指導監督手法の検討	研修等の充実	検討・実施（課題の抽出・分析、見直しの検討）				B
調査・検査手法等の見直しの検討	検査マニュアル改訂	検討・実施（課題の抽出・分析、見直しの検討）				B

### 【今後の取組等】

- ア 2040年を見据えて取り組むこと（今後の課題）**
- ・適切な指導監督を行うため、取引の実態を把握するとともに、担当職員の対応力強化を図りながら、取引環境の変化等に即した、実効性のある指導監督手法等を確立
  - ・検査手法及びマニュアルについて適宜見直しを実施
- イ 計画期間内の取組**
- ・引き続き、担当職員のスキルの維持・向上を図るため、担当職員向けの研修について、実施時期や講義内容等を見直しながら着実に実施

### 主な取組例

## 社会的責任を踏まえた市場流通に対する信頼性を向上させる方策として、市場業者における責任ある企業行動に関するチェックリストの検討を実施

### 1 事業概要

卸売市場が基幹的なインフラとしての役割を着実に果たしていくためには、公平かつ公正な取引環境を確保することはもとより、取引に関わる様々な方々から信頼を得ることが重要

市場業者が業務を行う上で、法令順守だけでなく、環境負荷の軽減やSDGsの達成などにつながる企業行動に関して、自ら点検し自律的な改善を図ることができる方策を検討するとともに、社会的な責任をより一層果たすことが求められている。

### 2 令和5年度実施内容

- 卸売市場における責任ある企業行動の在り方に係る調査委託を実施
  - ・ 市場業者との意見交換
  - ・ 先進事例の調査
  - ・ 有識者へのヒアリング
  - ・ 責任ある企業行動に関するチェックリストの検討

### 3 今後の取組

- チェックリストを周知し、市場業者による自律的な改善に活用
- 環境負荷の軽減などの、責任ある企業行動に繋がる市場業者の取組を支援

## II - 4 - ② 品質・衛生管理の徹底・強化

### 【概要】

品質・衛生管理の高度化を進め、食の安全を確保する。また、各市場の持つ個性や強みを踏まえつつ、時代とともに変化する産地や実需者、消費者が求める品質・衛生管理の水準に、柔軟に対応できる市場施設等を整備する。

### 【前回審議会までの報告事項】

- HACCPに沿った衛生管理の取組を支援するため、外部講師によるHACCP推進講習会（ワークショップ事業）を豊洲市場及び大田市場で実施
- 足立市場の施設対策の検討に着手し、仲卸売場等を対象とした「衛生対策方針・基本計画」を策定するため、市場業界との意見交換を行う検討会を設置

### 【前回審議会以後の取組状況】

- ワークショップ事業の対象市場を拡大し、葛西市場及び北足立市場において外部講師によるHACCP推進講習会を実施
- 足立市場にて、令和5年度末に「衛生対策方針・基本計画」を策定し、令和6年8月に基本設計に着手

### 【計画の進捗状況】 B 実施中

→ 「HACCPに沿った衛生管理に係る記録の定着支援」をはじめ、計画記載の3項目を中心に計画どおり実施

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
HACCPに沿った衛生管理に係る記録の定着支援	記録の定着支援の実施					A
HACCPに沿った衛生管理に係る検証等支援		衛生管理に係る検証等支援の実施				B
第三者認証取得支援	実施					B

### 【今後の取組等】

- ア 2040年を見据えて取り組むこと（今後の課題）**
- ・業界団体等と連携した品質・衛生管理の高度化に向けた取組の推進
  - ・実需者や消費者が求める品質・衛生管理の水準に柔軟に対応できる市場施設の整備などを実施
- イ 計画期間内の取組**
- ・HACCPに沿った衛生管理の着実な実施に向け、引き続き、ワークショップ事業を実施
  - ・足立市場における衛生対策を着実に実施

### 主な取組例

## 水産物市場に求められる、より一層の品質衛生管理の実現に向けた足立市場の衛生対策

### 概要

#### ○卸売場

(現状)

- ・閉鎖され低温化されている大物卸売場や鮮魚及び塩干物などを扱う第二低温卸売場が整備されている一方、鮮魚卸売場の一部は開放型  
→ (対応策) **鮮魚卸売場を閉鎖型に改修**

#### ○仲卸売場

(現状)

- ・施設の老朽化が進んでおり、水産物市場に求められる商品の鮮度保持などといった、より一層の品質衛生管理の実現に向けた課題がある  
→ (対応策) **品質衛生管理の改善に向け、場内移動を推進**

#### ■ 卸売場の現状



#### ■ 仲卸売場の現状



### 令和6年度取組状況

- 卸売場 : 実施設計を策定
- 仲卸売場 : 衛生対策方針・基本計画を踏まえた設計等に着手

### 令和7年度以降の予定

市場業者との合意形成を図ったうえで、着実に工事を進めていく。

## II - 4 - ③ 事業継続体制の確保・強化

### 【概要】

首都直下型地震等の災害が発生した際、生鮮品等を安定的に都民に供給する基幹的なインフラとしての機能の継続性を確保するとともに、危機的な事態への万全な備えが講じられた「止まらない」中央卸売市場を実現

### 【前回審議会までの報告事項】

- 各市場へのリスクアセスメント調査及び、水災リスクが懸念される市場等5市場を対象にした、内水氾濫及び河川氾濫を想定した浸水シミュレーションを実施 など

### 【前回審議会以後の取組状況】

- 昨年度までの調査結果を踏まえ、中央卸売市場BCPについて、東京都業務継続計画（都政のBCP オールハザード型Step. 1）等の様々な公表物と照らし合わせを実施し、現行中央卸売市場BCPの乖離部分の洗い出しや課題の整理を実施している。
- 中央卸売市場BCP改訂委託の受託者とともに、各市場の職員とのワークショップを行い、各市場の現場における意見や課題を洗い出し、現行中央卸売市場BCPで改訂や具体化すべき部分の抽出を実施している。

### 【計画の進捗状況】 B 実施中

→ 「リスクアセスメント調査等」をはじめ、計画記載の3項目を中心に計画どおり実施

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
リスクアセスメント調査等	11市場で調査実施	浸水シミュレーション等			
中央卸売市場BCPの改訂等（風水害等）		BCP改訂等		訓練実施・効果検証・BCPの見直し	
市場業者BCP策定支援		BCP策定状況調査	BCP策定支援・訓練実施・効果検証		

A

B

B

### 【今後の取組等】

#### ア 2040年を見据えて取り組むこと（今後の課題）

- ・改訂版BCP等の業界への周知・定着を図るとともに、実効性を高めることが必要
- ・訓練を実施し課題や改善点を抽出し、随時、中央卸売市場BCPの見直しを図る。
- ・市場の事業継続体制の確保に向けて、業界の災害対策に対する機運を醸成

#### イ 計画期間内の取組

- ・業界の災害に対する意識を高めるために市場業者へのBCP講習会を実施するとともに、BCPの実効性を高めるため、各場において訓練を実施

主な取組例

策定から4年が経過し、気候変動に伴う災害対応の強化が必要とされているため、中央卸売市場BCPを改訂する。

現在の取組

資料による現在の状況把握

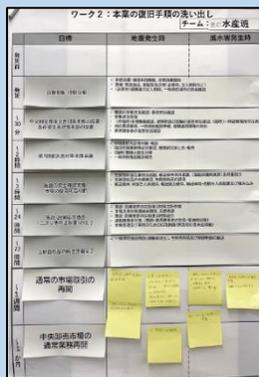
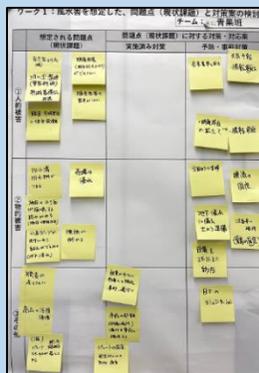
都政BCP、東京都地域防災計画など



各市場職員間のワークショップ

現場の状況把握

各市場の災害に対する課題や意見など



収集・分析

今後の予定

令和6年度中

新中央卸売市場BCP改訂

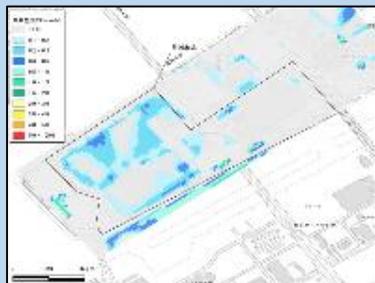
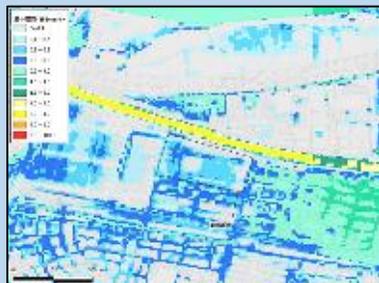
既存の策定している地震に対する業務継続計画を更新

風水害に対する業務継続計画を追加

様々な公表物

基礎調査資料

リスクアセスメント調査や浸水シミュレーション



## II - 4 - ④ DXの推進等による市場業務の効率化

### 【概要】

行政手続や市場内における施設管理などにデジタル技術を積極的に活用し、効率的かつ効果的な市場運営を実現するとともに、市場業者の先端技術等を用いた取組を支援

### 【前回審議会までの報告事項】

- 各種イベントや講習会、ICTの活用等により取組を推進
- せり動画の配信を大田市場花き部にも拡大し、見学者にせりの臨場感を体験してもらうコンテンツを充実

### 【前回審議会以後の取組状況】

- 大田市場において、カメラ映像の画像解析技術等を用いた車両管理などの実証事業に向け、業界調整などを実施
- ICTを活用し、豊洲市場・大田市場の青果部において、せり動画を作成・配信済(令和6年3月)

### 【計画の進捗状況】 B 実施中

→ 「管理運営業務の効率化・高度化」について、カメラ映像の画像解析技術を活用したセキュリティ強化等を、これまでの調査・実証により把握した課題やそれに対する対応案等を踏まえて、実用性・実効性のある取組として事業化を図っていくことが必要

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
管理運営業務の効率化・高度化		技術導入に向けた調査	事業構築等		
市場見学者の経験価値向上		先端技術の順次導入			
市場業者のデジタル技術の活用支援		市場業者との意見交換・情報提供			

B

B

B

### 【今後の取組等】

#### ア 2040年を見据えて取り組むこと（今後の課題）

- ・技術導入に向けた調査結果を踏まえるとともに、業界ニーズや環境変化を的確に捉え、実用性や実効性のある事業を構築
- ・メタバース空間を構築し、見学者同士が交流しながら、市場について学ぶことができる仕組みの検討等、先端技術を活用し市場見学者の利便性向上を図る。

#### イ 計画期間内の取組

- ・大田市場において、カメラ映像の画像解析技術等を用いた車両管理などの実証事業を着実に実施し、課題を整理したうえで、事業化に向けて取り組んでいく。
- ・VR・AR技術を活用した見学コンテンツの検討・導入
- ・事業者のDXの取組を支援

## 主な取組例

市場見学者の利便性向上を図るため、市場見学者にせり時間外においても卸売場の臨場感を味わってもらえるよう、見学者通路にせりの動画を見ることができるQRコードを設置  
 子供を含む幅広い世代の都民を対象に、市場の魅力を体験できるコンテンツを充実させていく。

【令和4年度】豊洲市場 マグロ及びその他鮮魚などのせり動画

拡大

【令和5年度】豊洲市場及び大田市場 青果のせり動画

更なる拡大

【令和6年度】大田市場 花きのせり動画（予定）



冷凍マグロ 下付け(品定め)  
Inspection of Frozen Tuna

【豊洲市場】マグロせり動画



移動せり

“Roaming” auction

【豊洲市場】青果せり動画



【豊洲市場】その他鮮魚等せり動画



【固定せり】  
商品すべてではなく、見本を見せながら行うせり。せり人は高い台に  
立つてせりを行います。高級の品物は大きさを別に順番に売っています

【Fixed auction】  
Auctions are held in a fixed location, such as on a platform, by showing  
samples of products rather than all products together. The auctioneer stands  
on a high podium and the buyers gather on a platform for an auction. Items  
are sold successively in lots grouped by quality and size.

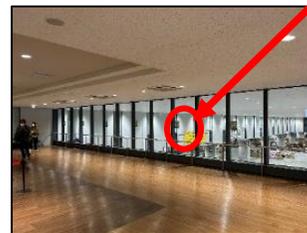
【大田市場】青果せり動画

青果物のせりの様子

QRコードを読み取ると、  
青果物のせりの様子が  
見られます!

マグロのせりの様子

QRコードを読み取ると、  
マグロのせりの様子が  
見られます!



（豊洲市場 見学者通路の様子）

## Ⅱ - 4 - ⑤ サプライチェーンにおける結びつきの強化

### 【概要】

市場業者の産地や実需者とのサプライチェーン等での結びつき強化を支援し、基幹的なインフラとしての機能を強化する。市場業者が産地や実需者のニーズに対応できる環境を整備し、市場業者の集荷力・販売力を向上させる。

### 【前回審議会までの報告事項】

- 産地からの集荷力や顧客満足度の向上を図るなど、市場業者の自律的な取組を経営強靱化推進事業により支援

### 【前回審議会以後の取組状況】

- 経営強靱化推進事業等により、市場業者の集荷力向上などの取組を支援
- 施設整備を契機とした取組として、板橋市場の再整備の基本構想において、取引先の需要に対応するための加工・パッケージエリアの整備等を機能強化の方向性に掲げるなど、実需者ニーズ等への対応を推進

### 【計画の進捗状況】 **B 実施中**

→ 「経営強靱化のための補助事業等」をはじめ、計画記載の2項目を中心に計画どおり実施

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
経営強靱化のための補助事業等	実施		見直し・再構築など			<b>B</b>
経営の専門家と連携した支援（情報発信、相談事業等）	実施(情報誌、セミナー、相談事業、アドバイザー等)					<b>B</b>

### 【今後の取組等】

- ア 2040年を見据えて取り組むこと（今後の課題）**
- ・ 結びつき強化に向けた、市場業者の取組を推進（支援の活用促進策、水平展開（機運醸成））
  - ・ 施設整備等を契機としたニーズ対応
- イ 計画期間内の取組**
- ・ 経営強靱化推進事業や経営相談等の支援策を実施
  - ・ 施設整備等を契機として、結びつきを強化する産地視察などを業界と連携して実施

### 主な取組例

### 産地や実需者のニーズを踏まえた機能強化

#### 【目的】

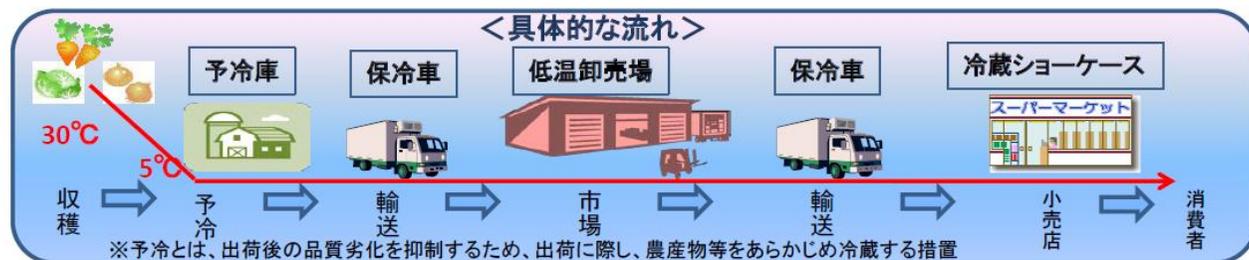
- 板橋市場や淀橋市場等において、老朽化に伴う施設整備を通じて、集荷力や販売力を向上させるため、**産地や実需者のニーズに対応する機能強化**を図る。

#### 【課題】

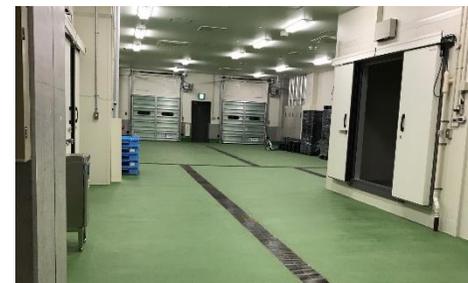
- 開放型の施設構造で、温度管理されたエリアが限定的なため、**コールドチェーン対応が不十分で、鮮度保持を重視する産地や量販店等の実需者との取引拡大が困難**
- 店頭で販売できる形態での納入を求める量販店、スーパー等の実需者との取引を拡大するためには、**加工・パッケージへの対応が必要**

#### 【機能強化の方向性】

- これまでは屋外だった**荷受け場や積込場を屋根下のスペースに設置**するほか、必要区画の**閉鎖化・定温化によりコールドチェーン対応を強化**
- 実需者のニーズに対応する**加工・パッケージ施設を設置するエリアを整備**



一貫したコールドチェーンの具体的な流れ（農林水産省資料より）



加工パッケージ施設の例（豊洲市場）

## II - 4 - ⑥ 市場業者の経営基盤の強化

### 【概要】

経営強靱化推進事業等により、市場業者の経営基盤の強化に向けた取組など、行動変革を後押しするとともに、市場業者が社会経済情勢の変化に応じて、柔軟に対応できるよう、専門家と連携した情報発信や相談事業等を実施する。

### 【前回審議会までの報告事項】

- 経営相談事業等の実施：経営改善に関する相談 外4件、専門家による定期訪問相談（46回83者）
- 専門家と連携した情報発信：オンライン経営セミナーの開催（3回）、市場業者向け情報誌の発行（1回）
- 経営強靱化推進事業による取組支援（輸出拡大に向けた第三者認証取得など105件の取組に対して支援）
- 取扱品目や業態間を超えたグループでの輸出力強化の取組を支援 など ※令和6年1月31日時点

### 【前回審議会以後の取組状況】

- 令和6年度は経営強靱化推進事業において、物流対策枠や人材確保支援枠を新設し、市場業者の取組を後押し
- 経営相談事業等や専門家と連携した情報発信を実施
- 輸出への関心を高める市場業者向けの情報発信（パンフレット配布） など

### 【計画の進捗状況】 B 実施中

→ 「経営の専門家と連携した支援」をはじめ、計画記載の3項目を中心に計画どおり実施

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
経営の専門家と連携した支援（情報発信、相談事業等）【再掲】	実施(情報誌、セミナー、相談事業、アドバイザー等)				
経営強靱化のための補助事業等【再掲】	実施		見直し・再構築など		
輸出力強化	支援事業	新規顧客開拓に向けた市場業者の取組の促進			

### 【今後の取組等】

- ア 2040年を見据えて取り組むこと（今後の課題）**
- ・市場業者の経営を取り巻く環境変化に対応できるよう、直面する課題の克服に向け、適時適切な支援の企画・実施
  - ・輸出力強化に向けて更なる取組支援を検討
- イ 計画期間内の取組**
- ・各種経営支援策の実施（経営相談、経営アドバイザー、経営セミナー、情報誌発行等）
  - ・輸出力強化に向けた市場業者の取組を支援するため、情報発信等を実施

### 主な取組例

- 取引環境の変化に応じた市場業者の行動変革の取組を後押しし、  
**経営基盤の強化や稼ぐ力の強化に向けた取組を支援**

#### 1 中央卸売市場経営強靱化推進事業の見直し

事業の実効性を一層向上させるため、経営強靱化推進事業の見直しを実施

<新規> 市場業者の物流効率化に資する取組や人材確保に向けた取組を後押しするため、令和6年度に「物流対策枠」「人材確保支援枠」を新設

<拡充> 令和6年度に債務負担行為の補助対象とする区分を拡充し、2か年にわたって市場業者の取組を着実に下支え

- ① 新たなビジネスや業務改善につながる取組
- ② 市場全体の活性化や業務改善につながる複数事業者や業界団体が行う取組

#### 2 個々の市場業者が抱える経営課題に応じた相談対応

専門家と連携し、市場業者が係る経営上の課題に対して、経営相談を実施

<主な事例>

相談内容	対応者
財務についての助言	中小企業診断士
労務管理についての助言	社会保険労務士
財務分析を踏まえた経営への助言	公認会計士

#### 3 専門家と連携した情報発信

発信方法	実施月/発行月	テーマ	講師/寄稿者
オンラインセミナー	令和6年3月14日	市場業者の経営戦略	中小企業診断士
	令和6年6月27日	人材の確保	社会保険労務士
情報誌	令和6年3月	商品価格の見直しほか	弁護士等
	令和6年6月	業務のデジタル化ほか	中小企業診断士

## II - 5 - ⑦ 物流の高度化・効率化

### 【概要】

改正法施行に伴う輸送力不足等の影響など物流環境の変化がある中、パレットの標準化や運用ルール等を確立、先端技術を活用した場内荷役業務の省力化・自動化等を実施することで、場内物流の効率化を図る。また、集荷における幹線輸送への集約化やストックポイントとしての施設活用等を行い、物流の効率化を図る。

### 【前回審議会までの報告事項】

- 業界と場内物流の効率化に向けた検討、物流対策コンサルティング事業等を検討
- 淀橋市場において、先端技術を活用した市場物流イノベーション推進事業を推進
- 大田市場の物流効率化に資する場内通信環境の改善に向けた最適な対応策をとりまとめる協議体を設置し、整備の方向性を検討

### 【前回審議会以後の取組状況】

- 物流対策コンサルティング事業等を創設し、事業者の取組を支援
- 自動立体冷蔵倉庫の整備と自動搬送技術の導入に向けた検討
- 大田市場において、物流効率化に向けた業界の取組を支援するため、通信基盤としてWi-Fiの整備に着手
- 板橋市場の基本構想策定において、ストックポイントとしての施設活用等に向けた検討を実施し課題等とりまとめ

### 【計画の進捗状況】 **B 実施中**

→ 「自動搬送等の導入による場内物流の効率化等の推進」をはじめ、計画記載の2項目を中心に計画どおり実施

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
自動搬送等の導入による場内物流の効率化等の推進	調査	導入に向けた検討、一部の市場で先行実施				<b>B</b>
経営強靱化のための補助事業等【再掲】	実施		見直し・再構築など			<b>B</b>

### 【今後の取組等】

#### ア 2040年を見据えて取り組むこと（今後の課題）

- ・ 物流環境の変化に即した支援の継続及び物流対策の更なる取組が必要
- ・ 業界と連携し、ソフト・ハードの両面での取組を推進

#### イ 計画期間内の取組

- ・ 市場業者の物流効率化に向けた取組を引き続き支援
- ・ 施設の拡張整備にあわせて、先端技術を活用した市場の物流高度化・効率化を図る推進事業を継続
- ・ 大田市場において物流効率化に向け場内通信環境を改善

## 主な取組例

- 「物流の2024年問題」に対応するため、都と業界とが連携し、物流の高度化・効率化に資するソフト・ハードの両面での取組を推進

### 取組 1：物流課題に直面する市場業者への支援

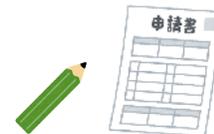
#### 《物流対策コンサルティング事業》

卸売市場を中心とする産地・実需者を含めたサプライチェーン全体での物流効率化に向けた取組（パレット標準化等）を支援するため、物流の専門家による市場業者へのセミナーや個別相談などを実施



#### 《経営強靱化推進事業に物流対策枠を新設》

経営強靱化推進事業において、新たに「物流対策枠」を設置し、高補助率にて市場業者の取組を支援



### 取組 2：施設整備に併せた実証事業の推進

#### 《市場物流イノベーション推進事業》

- ◆ 淀橋市場において、施設の拡張整備にあわせて、先端技術を活用した市場の物流高度化・効率化を推進

#### 【事業の概要】

市場業者による、淀橋市場をモデルとした物流高度化・効率化に要する費用の一部を都が補助

#### 【現状・課題】

- ・ 自動立体冷蔵倉庫等整備工事の着実な推進
- ・ 自動搬送技術の導入に向けた検討



自動立体冷蔵倉庫

#### 【スケジュール】

令和5年度  
・ 推進事業に着手

令和6～7年度  
・ 自動立体冷蔵倉庫等の整備  
・ 自動搬送技術の導入

### 取組 3：狭隘化が進む大田市場での取組

#### 《大田市場通信基盤整備事業》

- ◆ 大田市場青果卸売業者3社で共同開発を進めている「荷置場案内サービス」を活用した物流効率化の取組を後押し

#### 【事業の概要】

「荷置場案内サービス」での活用も想定し、不特定多数の市場施設利用者がアクセスできる通信基盤として、Wi-Fiを整備

#### 【現状・課題】

今年度からセキュリティ対策を強化したWi-Fiを右図の箇所に先行整備

#### 【スケジュール】

令和6年度  
・ Wi-Fi先行整備(設計、電源・回線工事を含む)

令和7年度以降  
・ Wi-Fi順次拡大整備(電源・回線工事を含む)



## II - 5 - ⑧ 商流の高度化・効率化

### 【概要】

商取引のデジタル化に係る市場業者の意識啓発や支援を行うため、ICTなど先端技術や取引情報の活用に係る課題や事例の調査を行うとともに、調査結果を踏まえ市場業者とも連携しながら先端技術の導入を推進

### 【前回審議会までの報告事項】

- ECサイトの構築など、商取引のデジタル化につながる市場業者の取組を経営強靱化推進事業により支援
- 専門家と連携し、デジタル技術を活用したインボイス制度や電子帳簿保存法の対応方法等のオンライン経営セミナーを開催

### 【前回審議会以後の取組状況】

- 経営強靱化推進事業により、市場業者の商取引のデジタル化に向けた取組を支援
- 経営相談事業等や専門家と連携した情報発信を実施

### 【進捗状況の確認】 B 実施中

→ 「「商取引のデジタル化」等の調査」について、調査結果を踏まえ、業界との意見交換などを通じ、具体的な検討が必要

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
「商取引のデジタル化」、 「取引情報の活用推進」調査	業界と共同で検討	検討・試行・検証など				B
経営強靱化のための補助事業等【再掲】	実施	見直し・再構築など				B
経営の専門家と連携した支援（情報発信、相談事業等）【再掲】	実施（情報誌、セミナー、相談事業、アドバイザー等）					B

### 【今後の取組等】

#### ア 2040年を見据えて取り組むこと（今後の課題）

・ 商流の高度化・効率化の推進に向け、今後の先端技術の進展や流通環境等を踏まえながら、効果的な導入事例の情報共有やICTの導入支援などにより、商取引のデジタル化をより推進

#### イ 計画期間内の取組

・ 商取引のデジタル化について、業界との意見交換等の実施

・ 経営強靱化推進事業や経営相談等の支援策を実施

主な取組例

商取引のデジタル化の推進に向けた取組

1 当面の方向性

商取引のデジタル化に係る市場業者の意識啓発や支援を行うため、ICTなど先端技術や取引情報の活用に係る課題や事例の調査を行うとともに、調査結果を踏まえ市場業者とも連携しながら先端技術の導入を推進

2 令和5年度実施内容

- 中央卸売市場経営強靱化推進事業
  - ・ 市場業者のデジタル活用の取組を支援する「DX推進枠」により、インボイス対応や電子帳簿保存法対応のためのシステム改修や、販売管理システムの導入などの取組に対して支援
- 個々の市場業者が抱える経営課題に応じた相談対応
  - ・ 専門家と連携し、市場業者が抱える経営課題に対して、相談対応を実施
- 情報発信
  - ・ 市場業者向けの情報誌等による補助金の活用事例の周知や令和5年度に新設した「DX推進枠」の紹介



3 今後の取組

引き続き商取引のデジタル化につながる市場業者の取組を支援

## II - 5 - ⑨ 多様な消費者ニーズへの対応

### 【概要】

多様な消費者ニーズに市場業者が対応できるよう、市場業者による新たな販路開拓や市場の強みを生かした付加価値が提供できる環境を整備する。

### 【前回審議会までの報告事項】

- 板橋市場の再整備に向けて基本構想を取りまとめるにあたり、物流事業者等に対して転配送拠点に関するヒアリング調査を実施するとともに、ストックポイントとして活用されている物流施設の市場業者向け見学会を実施
- 多様化する消費者ニーズに対応するため、品質・衛生管理体制の強化など市場業者の取組を経営強靱化推進事業により支援

### 【前回審議会以後の取組状況】

- 板橋市場の基本構想策定にて、ストックポイントとしての施設活用等に向けた検討を実施し、課題等を取りまとめ
- 物流の分散化のほか、特色ある商流の創出に向けて市場間ネットワーク形成に関する調査を実施

### 【進捗状況の確認】 B 実施中

→ ストックポイントとしての施設活用等について、市場の特性等を踏まえた取組の具体化に向けて引き続き検討等が必要

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
ストックポイントとしての活用策等に向けた調査等	調査	事例共有・実施			
経営強靱化のための補助事業等【再掲】	実施	見直し・再構築など			
経営の専門家と連携した支援（情報発信、相談事業等）【再掲】	実施（情報誌、セミナー、相談事業、アドバイザー等）				

B

B

B

### 【今後の取組等】

#### ア 2040年を見据えて取り組むこと（今後の課題）

- ・ストックポイントとしての施設活用等、各市場の特性等を踏まえた多様なニーズに対応する取組を推進
- ・引き続き、多様な消費者ニーズに対応した適時適切な支援の企画・実施

#### イ 計画期間内の取組

- ・各市場の特性等を踏まえた取組として、板橋市場において、転配送機能の強化を図るストックポイントとしての施設活用を引き続き検討
- ・経営強靱化推進事業や経営相談等の支援策を実施



## 【概要】

中央卸売市場では、電力を大量に消費する施設や設備が多いことから、環境負荷低減の取組を推進していくことが必要となっている。そこで、再生可能エネルギーによる電力調達や省エネルギー対策を推進するとともに、市場業者の小型特殊自動車のZEV化促進や発泡スチロール製容器の国内リサイクル等の取組を行う。

## 【前回審議会までの報告事項】

- グリーン冷媒機器普及促進事業（補助事業）の実施、省エネ診断やセミナー・相談会の実施
- 各市場における照明器具のLED化を計画的に実施
- 発泡スチロール製容器の国内リサイクルの現状や課題等を市場業者と共有

## 【前回審議会以後の取組状況】

- 環境負荷低減の取組を推進していくため、省エネ型グリーン冷媒機器へ更新する市場業者に対する補助事業や、個々の市場業者向けの省エネ診断やセミナー・相談会を継続的に実施

## 【計画の進捗状況】 B 実施中

→ 「市場施設における環境負荷低減に向けた施策・整備」をはじめ、計画記載の3項目を中心に計画どおり実施

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
市場施設における環境負荷低減に向けた施策・整備		LEDなど、環境負荷低減に資する設備の導入				B
小型特殊自動車のZEV化	調査	充電設備の増設				B
発泡スチロール製容器の国内リサイクル等への取組	調査	事例共有、リサイクル推進策の検討・実施				B

## 【今後の取組等】

### ア 2040年を見据えて取り組むこと（今後の課題）

- ・ 環境負荷低減に向けた施策・整備の推進
- ・ 小型特殊自動車のZEV化推進
- ・ 発泡スチロール製容器の国内リサイクルの推進

### イ 計画期間内の取組

- ・ 再生可能エネルギーの更なる導入検討
- ・ 照明器具のLED化の着実な推進
- ・ グリーン冷媒機器普及促進事業等の推進
- ・ 市場内の充電設備の増設
- ・ 発泡スチロール製容器の国内リサイクルに向けた調整

主な取組例

環境負荷低減の取組を推進していくため、省エネ型グリーン冷媒機器へ更新する市場業者に対する補助事業や、個々の市場業者向けの省エネ診断やセミナー・相談会を実施

グリーン冷媒機器普及促進事業

- ◆ 省エネ型グリーン冷媒機器の普及を促進するため、導入に要する経費の一部を補助



冷蔵庫及び冷凍庫

対象設備

冷蔵庫及び冷凍庫

プレハブ式冷蔵及び冷凍庫の冷却装置

活魚水槽等の冷却装置

製氷機

補助率

補助上限

2分の1

200万円

令和5年度実績

申請件数

補助台数

39件

52台

東京都中央卸売市場  
省エネ型グリーン冷媒機器  
普及促進事業補助金を  
令和6年度も実施します！！

うれしい  
省エネ

ノンフロンで  
地球にやさしい

～今年度も継続して実施します～  
省エネ型グリーン冷媒機器とは  
フロンガスを使用していない下記の設備

- ▶ 冷蔵及び冷凍庫
- ▶ プレハブ式冷蔵及び冷凍庫の冷却装置
- ▶ 活魚水槽等の冷却装置
- ▶ 製氷機

(ただし、中古品・リース品・家庭用品は除きます)

＜補助対象者＞  
▶ 市場施設の使用許可を受けた事業者で  
市場内で自ら設備を使用する事業者

＜補助金の交付額＞  
▶ 補助率 2分の1(工事費・運入費等除く)  
▶ 補助上限額 200万円  
※ショールームは対象外となります  
(環境局の補助金をご案内します)  
※予算総額の上限に達した場合は終了となります

＜ご注意＞ 申請の受付は、令和7年1月31日まで  
補助金を受け取るためには、購入前に交付申請が必要です

お問い合わせは、東京都中央卸売市場 市場改築課  
環境整備担当 TEL 03-5320-7455まで

令和6年度事業周知

省エネ診断

- ◆ 専門家が事務所・店舗の現地確認等により、省エネ診断を実施
- ◆ 個々の実情や相談内容に応じ、運用対策や設備対策、節電効果などを提案



サーモカメラによる  
店舗の温度確認

セミナー・相談会

- ◆ 設備の運用改善等に関する実践的な省エネ対策に関するセミナー・相談会を実施（オンライン）

令和5年度実績

省エネ診断

セミナー・相談会

5市場 9件

2回

無料 Tokyo Cool HTT  
令和6年度 東京都中央卸売市場  
省エネ診断を実施します  
こんなお悩みにお答えします！！

- 電力料金高騰を  
減らす、省エネ対策  
の活用を助けます！！
- 暑い・寒いなどの  
暑苦しさや寒さ  
を減らします！！
- HVACで、  
暑さや寒さを  
減らします！！
- 節電対策が  
できる、省エネ  
対策の導入に  
補助金を活用します！！
- 節電だけでなく、  
省エネ対策も  
実施します！！

【補助対象】 申請者の専業所（所要時間：通常平日日曜）  
※使用許可を受けている場所に限る

【受付】 2024年7月29日（月）～2025年1月31日（金）

【対象者】 各市場にて、使用許可を受けている個人・個人または団体  
※有償の依頼として受けた設備の導入に関する事業の一部については、  
補助金を受け取ることができません。【事業費補助】

【対象】 省エネ対策の一環として、専業主業所（オンライン）  
※対象外：設備の点検・保守等による省エネ対策

※本事業は、東京都中央卸売市場にて公募予定です

東京都中央卸売市場 市場改築課 環境整備担当  
TEL 03-5320-7455  
東京都中央卸売市場 市場改築課 環境整備担当

令和6年度事業周知

## II - 6 - ⑪ 持続可能な調達等の取組

### 【概要】

水産エコラベルについて、積極的に情報発信を行い、サステナブルな社会の実現に向けた取組を促進する。商品の売切りはもとより、規格外の生鮮品等を販売に結び付ける取組により、食品ロスを削減する。

### 【前回審議会までの報告事項】

- 経営強靱化推進事業により、市場業者における水産資源の持続的な利用等に取り組む事業者を証明する水産エコラベル認証の取得を支援
- 食品ロス削減を図る事例を調査して、市場業者に共有することにより、食品ロス削減に向けた取組を支援

### 【前回審議会以後の取組状況】

- 水産エコラベルに関する消費者理解を深めるためのPRパネル等を制作し、多くの来場者が見込まれる豊洲市場まつりなどで展示、訴求するなど、積極的に情報発信していく。
- 各市場に、食品ロス削減の認知度向上を図るパンフレットを配布

### 【計画の進捗状況】 B 実施中

→ 「市場まつりや各種講習会を通じた水産エコラベルの認知度向上」をはじめ、計画記載の3項目を中心に計画どおり実施

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
市場まつりや各種講習会を通じた水産エコラベルの認知度向上		関係団体との調整、市場まつり等での普及活動、効果検証				B
経営強靱化のための補助事業等【再掲】		実施		見直し・再構築など		B
食品ロス削減への取組	調査分析		事例共有・取組支援			B

### 【今後の取組等】

- ア 2040年を見据えて取り組むこと（今後の課題）**
- ・水産エコラベルに対する、実需者・消費者の意識向上のための、都が果たすべき役割や手段を検討
  - ・国や水産エコラベル認証機関、市場関係者との連携・協働によるワークショップやセミナーの開催
  - ・多くの来場が見込まれる市場まつり等における、市場関係者と連携した認証水産物の紹介など
- イ 計画期間内の取組**
- ・消費者の意識を高めるため、「海の豊かさを守ろう（SDGs）」の取組の紹介や、水産エコラベルの認証水産物を活用した食育教室を検討
  - ・食品ロス削減の事例共有により、取組を支援

主な取組例

水産エコラベル・食品ロス削減の認知度向上に向けた取組

- 生態系や資源の持続性に配慮した水産エコラベルについて、積極的に情報発信を行い、市場における取扱いが推進されることで、サステナブルな社会の実現に向けた取組を促進する。  
豊洲市場のPRコーナーや見学者通路等において水産エコラベル等に関する展示物を充実させることにより、見学者が水産エコラベル等を知り、学ぶ場を提供する。
- 食品ロス削減のパンフレットを配布することで、市場業者の認知度向上を図る。

水産エコラベルの認知度向上に向けた取組

年度	内容
R5	豊洲市場PRコーナー及び「あだち市場の日」で水産エコラベルに関するパンフレット等を配布
R6	水産エコラベルに関する消費者理解を深めるためのPRパネル等を制作し、豊洲市場まつりなどで積極的に情報を発信（予定）

**日本発の認証**



**MEL認証**  
＜日本＞

- 漁業
- 養殖業
- 流通加工業

**海外発の認証**



**MSC認証**  
＜イギリス＞  
漁業・流通加工業



**ASC認証**  
＜オランダ＞  
養殖業・流通加工業



**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**



14 海の豊かさを  
守ろう



【豊洲市場】PRコーナーパンフレット等を設置

食品ロス削減の認知度向上に向けた取組

「都民いちば教室」や「親子見学会」などのイベントで食品ロス削減に関するパンフレットを配布

「いくつわかる?」  
食品ロスゼロ・グッドアクションクイズ!

① 「てまどり」とは、どんなアクションのことでしょう?  
A. P4をチェック→

② 冷蔵庫の整理整頓のポイントを3つ挙げてください。  
A. P5をチェック→

③ 「ドギーバッグ」は、どういったときに使うものでしょう?  
A. P8をチェック→

東京  
食品ロスアクション0



©2015 東京都庁  
発行：東京都環境局環境推進課環境設計課  
印刷：株式会社アイエム



登録番号 第15134号

電子とグッドアクション数値は  
右記のQRコードから確認できます。





東京都

### 【概要】

多様な食材の魅力や豊かな食文化などを地域に発信する情報拠点としての機能を発揮し、地域住民との交流促進を行い、地域との共生を推進する。生鮮品等に対する都民の理解醸成や健全な食生活の実践に貢献する。

### 【前回審議会までの報告事項】

- 5市場において市場まつりを開催したほか、世田谷市場においてウインターフラワーフェスタ、足立市場において「あだち市場の日」を開催
- 5市場において、食育・花育教室を開催（計17回）
- ICTを活用し、豊洲市場・大田市場の青果部において、せり動画を作成・配信

### 【前回審議会以後の取組状況】

- 令和6年度は、開場後、初開催となる豊洲市場をはじめ、8市場において、市場まつりを開催（予定）
- 都民が子育てしやすい環境を食の面から支援していくため、2本の食育動画を作成・公開（令和6年3月）
- ICTを活用し、豊洲市場・大田市場の青果部において、せり動画を作成・配信済(令和6年3月)

### 【計画の進捗状況】 **B 実施中**

→ 「市場まつり」をはじめ、計画記載の3項目を中心に計画どおり実施

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
市場まつり	実施方式検討	事業実施、効果検証		事業実施		<b>B</b>
食育・花育等講習会	実施方式検討	事業実施、効果検証		事業実施		<b>B</b>
ICTによる活動	コンテンツ検討	事業実施	効果検証、コンテンツの改善、事業実施			<b>B</b>

### 【今後の取組等】

- ア 2040年を見据えて取り組むこと（今後の課題）**
- ・各市場の特色を活かした市場まつりの開催
  - ・オンラインや出前型など、多様な形態での食育等の検討
  - ・環境負荷低減に向けて、市場まつりにおけるSDGsに配慮した取組への協力を依頼
- イ 計画期間内の取組**
- ・食育講習会等の開催(水産資源や環境に配慮した食材の使用を検討)
  - ・食育等についてのオンラインセミナーの実施

主な取組例

**都民に開かれた市場と生鮮食料品に対する理解を深めていただくとともに、食生活の向上や食育の普及などを目的として、各市場において、毎年秋に市場まつりを開催**

○コロナ禍により、市場まつりの開催を中止又は縮小してきたが、令和5年度は5市場において開催  
 市場業界と連携しながら、各市場の特色を活かした市場まつりを開催し、延べ6万人以上の方が来場  
 ○令和6年度は開場後、初開催となる豊洲市場まつりをはじめ、8市場において市場まつりを開催

■ 令和6年度市場まつり開催日（予定）

市場名		開催日	市場名		開催日
①	<b>初開催</b> 豊洲市場	11月3日（日）	⑤	板橋市場	10月27日（日）
②	食肉市場	10月19日（土）・20日（日）	⑥	世田谷市場	10月20日（日）
③	豊島市場	10月20日（日）	⑦	北足立市場	10月13日（日）
④	淀橋市場	11月17日（日）	⑧	葛西市場	11月17日（日）

■（参考）令和5年度の市場まつりの風景



食肉市場



豊島市場



淀橋市場



板橋市場



葛西市場

## II - 6 - ⑬ 働き方改革・ダイバーシティの推進

### 【概要】

中央卸売市場において、作業時間の分散化など、業務全体の最適化が図られるよう働き方を見直すとともに、労働環境の整備を図る。また、多様な人材が働くことのできる環境の整備を行う。

### 【前回審議会までの報告事項】

- 労働環境を取り巻く法改正等の動向などについて、業界団体と連携してセミナー等を開催

### 【前回審議会以後の取組状況】

- 令和6年度に経営強靱化推進事業において「人材確保支援枠」を新設し、労働環境の整備等、市場業者の働き方改革の実現に資する取組を支援
- 経営相談事業等や専門家と連携したオンライン経営セミナー等の情報発信を実施

### 【計画の進捗状況】 **B 実施中**

→ 「休開市における取組の検討」をはじめとする2項目は計画どおり実施中。市場業者においても労働力の確保が困難になっている現状等を踏まえ、誰もが働きやすい環境の整備など、ダイバーシティの取組の推進が必要

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
休開市における取組の検討	調査	市場業界と協議の上、適宜実施			
経営の専門家と連携した支援（情報発信、相談事業等）【再掲】	実施（情報誌、セミナー、相談事業、アドバイザー等）				

**B**

**B**

### 【今後の取組等】

#### ア 2040年を見据えて取り組むこと（今後の課題）

- ・市場業者の安定的な人材確保や、人材の育成に向けた取組の推進
- ・誰もが働きやすい環境の整備
- ・市場業者等の声や社会経済情勢の変化などを踏まえ、適宜、事業の見直しを図りながら、引き続き、経営支援策を実施

#### イ 計画期間内の取組

- ・経営強靱化推進事業や経営相談等の支援策を実施

主な取組例

市場業者が将来にわたって事業が継続できるよう、業務効率化や人材確保など、働き方改革の実現に向けた取組を支援

1 中央卸売市場経営強靱化推進事業

- 市場業者のデジタル化の促進により、業務の効率化が図られるよう、令和5年度に「DX推進枠」を新設し、デジタル技術を活用した取組に対して支援
- 市場業者が将来にわたって事業継続できるよう、令和6年度に「人材確保支援枠」を新設し、採用活動や従業員の能力開発、就業環境整備等の取組に対して支援

2 個々の市場業者が抱える経営課題に応じた相談対応

人手不足問題など、市場業者が直面する課題に対して相談対応を実施

3 専門家と連携した情報発信

- 労働環境を取り巻く法改正等の動向などについて、業界団体と連携してセミナー等を開催
- 情報誌において、「DX推進枠」の紹介と、活用事例について情報発信
- オンライン経営セミナーにおいて、「人材の確保」をテーマに情報発信

【テーマ】

「人材の確保」～採用から定着まで～

【内容】

- 1 人材確保が困難な社会的背景
- 2 事業者側が意識すべきポイント
- 3 採用実施にあたり知っておくべき制度

**「DX推進枠」のご紹介!**

令和5年度からの新区分

こんな特徴があります

- 市場業者の皆さまのデジタル活用に向けた取組を支援します
- 他の補助区分に比べて、簡易な申請様式となっています

補助対象経費の例

- パソコンやタブレット等の購入経費
- 販売管理システムやWEB販売システムの構築経費
- VPNルーターやサーバーの導入経費
- ホームページの制作費 など

簡単な申請書でOK!

① 当該事業により訓練等を行うシステムなどにチェックを入れ、チェックボックス下部の〇にその名称を記入すること

② 販売管理システム  
③ 受発注システム  
④ 顧客情報システム  
⑤ その他システム

<申請書の一部>

情報誌「いちば通信」vol.6（令和5年度下半期号）

市場業者の皆様へ  
令和6年度 東京都オンラインセミナー

経営強靱化補助金  
「人材確保支援枠」新設!

第1回テーマ  
～採用から定着まで～  
**「人材の確保」**

■「令和」の人材確保術、専門家から学んでみませんか?

日時	6月27日(木曜日) 14:00～15:00
講師	社会保険労務士 古川 天 (ふるかわ ひかり)
内容	1 人材確保が困難な社会的背景 2 事業者側が意識すべきポイント 3 採用実施にあたり知っておくべき制度

講師写真

社会保険労務士法人TENColors 代表  
■平成18年 社会保険労務士登録  
■平成25年 社会保険労務士事務所開業  
令和2年 東京都中央卸売市場 経営相談員就任

■「人」に関する専門家です。よりよい職場となるよう、皆さんと一緒に考えてまいります。

経営セミナー開催周知チラシ

## III 參考資料

## Ⅲ - 1 市場を取り巻く環境変化（物流2024年問題による影響と対応）

### 【物流問題と都の取組】

- トラックドライバーの労働環境改善に向け、法改正によりドライバーの時間外労働の上限規制が適用（4月～）
- これまでも、国ではパレット標準化等の取組を推進するよう各団体等に働きかけており、市場業界でも、自主行動計画を策定し、物流改善に取り組んでいる。
- 都においては、こうした物流効率化に取り組む市場業者に対し、専門家による個別相談等の実施や、設備投資等に必要な経費の補助などに取り組んでいる。

### 【物流コンサルタント事業等における支援】

- ・ 物流効率化に向けたシステム開発に係る相談・開発費への補助
  - ・ 産地等との物流標準化に向けた相談・標準貨車導入への補助
  - ・ 荷役作業の負担軽減等に向けた相談・設備導入への補助
- など

### 【自主行動計画の策定】

国のガイドラインに基づき、各団体が、荷受時間の削減等、**物流の適正化に向けた行動計画を策定**

※食品卸売業抜粋

全国中央市場青果卸売協会（令和5年12月）

全国青果卸売協同組合連合会（令和6年1月）

一般社団法人全国水産卸協会（令和6年5月）

日本花き卸売市場協会（令和5年11月）

公益社団法人日本食肉市場卸売協会（令和6年7月）

### 【市場取引への影響など（市場関係者へのヒアリング（4～5月時点））】

- 遠方産地からの商品の入荷に遅れや、運送コストの増加などの影響がある
- 地方では、出荷市場の絞込みがあると聞かすが、今のところ影響はない
- 産地からのパレット輸送が増え、パレットを産地に返却するための作業負担などが増加している など

### 【今後の取組の方向性】

- 今後トラックドライバーなどの労働力不足が進んでいく中、長期的には、市場取引においても物流課題が徐々に顕在化してくることが懸念される
- **生鮮食料品等の安定供給に向け、物流対策は引き続き、都と市場業者が連携しながら重点的に取り組んでいく**



